



第54回 近畿地区高等専門学校体育大会 陸上競技の部

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年 日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- (2) 練習は引率者が立会い、周囲に十分注意して危険防止に努めること。
- (3) 投てき練習は公式練習以外厳禁とする。

3 招集について

- (1) 招集所は、スタンド下(役員室B)に設ける。スタンド下雨天走路入口より入場すること。
- (2) 各種目の招集開始時刻および完了時刻は、その競技の開始時刻を基準として下記の要領で行う。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	予選	30分前	20分前
	決勝	20分前	10分前
フィールド競技		40分前	30分前

- (3) 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーカード、シューズ、衣類等、競技場内への持込物品の確認を受けること。競技場への入場は、係員の誘導に従い移動すること。
- (4) 2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集所での点呼の際、その旨を本人が競技者係に申し出ること。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
- (6) 欠場する場合は、必ず点呼前に招集所に欠場届けを提出すること。(欠場届けは代表者会議のときに配布する)
- (7) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに、招集所(競技者係)に提出すること。
オーダー用紙の提出がない場合、当該種目を棄権したものとみなし処理する。オーダー用紙は代表者会議で配布する。

4 招集について

- (1) ナンバーカードは下記の通りとする。
明石 101～ 奈良 201～ 舞鶴 301～ 和歌山 401～
大阪府立 501～ 近畿大学 601～ 神戸市立 701～
- (2) すべての競技者は、ナンバーカードをユニフォームの胸と背にそのままの大きさで付ける。走高跳の競技者は胸または背につけるだけでもよい。
- (3) トラック競技出場者は、右腰に腰ナンバーカードをつける。リレー種目はアンカーだけでよい。

5 競技について

- (1) 競技結果のアナウンスは上位のみ行うので、その他の結果は、記録掲示板で各自確認すること。
- (2) 予選において、同タイム同着の場合、決勝への進出選手(+α)は、抽選によって決定する。
- (3) トラック競技予選、1500mと5000m決勝のレーン順およびフィールド競技試技順は、プログラム記載順による。
- (4) 短距離走では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
- (5) トラック競技で棄権者がある場合、そのレーンは空ける。
- (6) トラック競技決勝のレーン順は、公正に抽選した結果を招集所に掲示する。
- (7) 走高跳のバーの上げ方は下記のように行うが、天候等の状況により変更することもある。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	1m45	1m 50	1m 55	1m 60	1m 65	1m 70	1m 75	1m 80	1m 85	1m 90	以降 3cmずつ上げる

- (8) 三段跳の砂場までの距離は、11mとする。
- (9) 5000mは、スタート後、25分で終了とする。



第54回 近畿地区高等専門学校体育大会 陸上競技の部

6 応援について

- (1) 応援は必ずスタンドで行い、本部前やトラロープの中、フィニッシュライン付近への立ち入りは禁止する。特に競技者のラップなどの計測、応援のために競技場に入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (2) メインスタンドではスパイクを履いて歩行しないこと。

7 更衣室について

- (1) 更衣室は本競技場1階に用意されている。更衣室への移動ではメインスタンド中央付近から通じる階段は使用しないこと。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用する。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (3) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。

8 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりは検査を受け合格したものは使用できる。この場合、検査に合格したものは主催者にてあずかり、主催者のものとして使用する。検査を希望する者は、競技開始時刻の70分前から50分前までの時間に用器具庫（100mゴール地点横）に持参すること。
- (2) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは2箇所までとする。

9 競技用靴について

- (1) 競技場は全天候舗装である。
- (2) 使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候舗装用を使用すること。また、スパイクピンの本数は11本以内とする。
- (3) 走高跳・走幅跳の靴底の厚さは13mm以内、走高跳の踵は19mm以内とする。

10 開会式・閉会式について

- (1) 開会式では、各校の選手およびマネージャーはアナウンスの指示に従い、縦4列で整列すること。
- (2) 閉会式は、すべての競技および種目別表彰が終了した後に行う。アナウンスの指示に従い、開会式と同様に整列すること。

11 その他

- (1) 応援は必ずスタンドで行い、本部前やトラロープの中及びフィニッシュライン付近への立ち入りは禁止する。特に競技者のラップなどの計測や応援のために競技場に入らないこと。
- (2) ゴミは各学校で処理すること。（本部から学校ごとにゴミ袋を配布する）
- (3) 試合中の負傷については大会本部で応急処置するが、その後の処置は各校及び各自で行うこと。
- (4) 参加者の健康管理については、派遣校が全責任を負うこと。
- (5) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。